

「国民の生活が第一」の政治を。



立憲民主党公認 衆議院議員候補者

小沢一郎

—— 国民のための政治に変える「8つの約束」 ——

1. 政権交代による「腐敗」の真相解明

12年間の自民党政権下で、森友・加計、桜を見る会、五輪汚職・談合、統一教会との癒着、裏金犯罪と、腐敗が進行しています。政権交代で全てを明らかにします。

2. 「異次元緩和からの完全脱却」による物価高の是正

異次元緩和による円安・物価高で日本の産業は衰退し、家計は苦しんでいます。元凶は政治です。異常な金融政策を速やかに見直し、物価を安定させます。

3. 「子ども手当」の復活・拡充

自民党政権は少子化を加速させています。人口減少の危機感が全くありません。子ども手当を復活し、大胆に拡充することで少子化を食い止めます。

4. 雇用の「正規化」の大胆な推進

経済的困窮から多くの若者が結婚できず、子どもを持てません。これでは人口減少も加速します。数値目標による雇用正規化の推進により生活を安定させます。

5. 「最低保障年金制度」の構築

既に現在の年金水準では多くの高齢者の生活は成り立たず、若者も年金制度の将来に強い不安を感じています。税財源の大胆な投入による最低保障年金制度を構築します。

6. 農林水産業における「セーフティネット」の再構築

命と生活の基盤である農林水産業が危機です。このままでは極端な食料不足と農村社会の崩壊が避けられません。戸別所得補償制度をはじめとするセーフティネットを再構築します。

7. 「再生可能エネルギー」の大胆な推進

原発に頼らないエネルギー政策を進める中で、国の本気度が全く足りません。地球温暖化対策のためにも再生可能エネルギーの比率を全体の半分以上に引き上げる必要があります。

8. 国から地方への大胆な「権限・税財源移譲」

補助金行政が継続しています。地方が自分で決められないと税金もうまく活用できません。生活まわりの政策は地方で決められるよう、大胆な権限・税財源移譲を実現します。

「政治とは、国民のためにある。」
国民の命と暮らしを守り、将来への安心と未来への希望を与えることであると、私は一貫して訴え行動してまいりました。前回の選挙は、私の不徳の致すところで厳しい結果となりました。そのことを深く反省し、この間、懸命に取り組んでまいりました。
自民党長期政権の下、強大な権力を乱用・私物化し、それにより弱者切り捨て、地方置き去りの政治に歯止めがかかりません。不正、腐敗、汚職がまん延し、「裏金問題」はその当然の結果であります。この異常な状況を正すには、「政権交代」しかありません。
何としても三度目の政権交代を成し遂げ、真に「国民の生活が第一」の政治を実現するために、これまでの政治生活のすべてを懸けた総仕上げ、自らの「天命」として闘ってまいります。

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

信頼できる政治の実現。

ozawa-ichiro.jp

